

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公表番号】特表 2012-529163 (P2012-529163A)

【公表日】平成 24 年 11 月 15 日 (2012.11.15)

【年通号数】公開・登録公報 2012-048

【出願番号】特願 2012-513486 (P2012-513486)

【国際特許分類】

H 0 1 L 21/306 (2006.01)

【F I】

H 0 1 L 21/306 D

【誤訳訂正書】

【提出日】平成 27 年 6 月 22 日 (2015.6.22)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 3】

アルカリ金属フッ化物、アンモニア、モノ、ジおよびトリアルキルアミンを含むアミンの H F 塩、ならびにポリマーアミンの、窒素複素環類のポリマーの H F 塩、例えばポリアリルアミンのフッ化物およびポリビニルピリジンのフッ化物など、もしくはフルオロアセトンまたはその混合物の群から選択された塩を含む、請求項 1 または 2 に記載の組成物。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 1】

好ましくは、スピンコーティングのために、フッ化物含有材料を用い、次にインクジェット印刷段階において、酸を適用する。

スピンコートした層の調製に好適なスピンコート可能なフッ化物源は、アルカリ金属フッ化物、アンモニア、トリアルキルアミン、テトラアルキルアンモニウムフルオリドを含むアミンの H F 塩、ならびにポリマーアミンおよびポリマー窒素複素環類、例えばポリアリルアミンおよびポリビニルピリジンなどの H F 塩を有する電解質担持ポリマーを含んでいてもよい。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 5 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 5 8】

フッ化物含有成分は、フッ化アルカリ金属、アンモニア、トリアルキルアミン、テトラアルキルアミンフルオリド、ジおよびモノアルキルアミンを含むアミンの H F 塩、ならびにポリマーアミンおよびポリマー窒素複素環類、例えばポリアリルアミンおよびポリビニルピリジンなどの H F 塩を、単独で、またはそれらの混合物で含有していてもよい。例えばエーテル、アルコールおよび水などの極性溶媒は、好適な担体溶媒である。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0060

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0060】

この場合において、好適なフッ化物成分は、フッ化アルカリ金属、アンモニア、トリアルキルアミン、ジおよびモノアルキルアミンを含むアミンのHF塩、ならびにポリマーアミン、窒素複素環類のポリマー、例えばポリアリルアミンおよびポリビニルピリジンなどのHF塩の群から選択される。適用可能な組成物は、結合剤を含んで、増大した粘度を調整するか、または含有担体溶媒の蒸発によって印刷された組成物の固化を誘発し、それによって印刷されたパターンを固定する。例えばエーテル、アルコールおよび水などの極性溶媒は、好適な担体溶媒である。